

小林軍治さんの業績を讃える—しのぶ会挨拶

日中友好協会岡山県連 宇野忠義

日中友好協会岡山県連の宇野忠義と申します。

本日は、小林軍治さんをしのぶ会に多数ご参加いただきありがとうございます。

日中友好協会岡山県連は昨年 3 月発足しました。小林さんは県連設立の中心になって奮闘され、理事長を務めていました。その3ヶ月後に突然ご逝去され、その喪失感の重さ、大きさを痛感しております。

小林さんと私は、天皇制軍国主義の侵略戦争中に生まれ、時代の特徴が軍治、忠義と名前に刻まれています。中国と日本で大きな違いがありますが、兄弟姉妹を二人失なったり、戦禍、飢餓、貧困など共通の経験を持ち、それだけに、戦後の民主教育と平和・民主憲法を学び、その素晴らしさに感激しました。

それゆえ、戦争と平和については強い関心を持ち、憲法擁護、反戦平和や革新の運動に参加してきました。小林さんは、ことに、侵略戦争の反省を踏まえ、日中不再戦と友好のきずなを深める日中友好協会の運動に長年参加され、中国帰国者や残留孤児の支援、あるいは残留孤児国家賠償請求訴訟にも長年その中心となって尽力されてきました。また、中国帰国者問題写真展も毎年開催されてきました。さらに、教師として人権教育にも非常に熱心に取り組み、人権研究センターの理事なども長年務めておられました。また、優れた点は、中国百科検定試験の難関、特級全科に合格されたことです。多くの苦難を乗り越えて刻まれたあの笑顔をおぼろげに忘れることは出来ません。

しかしながら、今、その笑顔を怒りでゆがめさせるような政治状況です。

安保3文書が閣議決定され、憲法前文や第9条に示された恒久平和主義を根本から覆し、「専守防衛」をかなぐり捨て、敵基地攻撃機能力を装備する大軍拡、増税が決まりました。東アジアに重大な脅威を与えるものです。

日本の安全保障は、国民をだます、作られた「脅威論」による力と力の対抗ではなく、これまでの歴史的事実と現実を踏まえた隣国との相互理解・信頼と対話による平和外交によってこそ実現できるものです。ことに、中国とは日中国交回復共同声明、平和友好条約、共同宣言等に立ち返り、憲法9条を生かす外交努力と草の根の国民の友好・交流が何よりも重要だと考えます。小林さんも一番強く念願されていることでした。

小林さんのご冥福をお祈りするとともに、ご遺志を継いで日中友好運動に励みたいと思います。



← 高杉さん



井堀夫妻 →

「故小林軍治と第六次龍爪開拓団」 その5

近現代研究者 青木康嘉

12. 2019 年の龍爪開拓団訪問

2019 年夏、浩良大島開拓団訪問をする前に龍爪開拓団によって交流した。筆者が「人権 21」に巻頭言として寄稿した文を紹介する。

「2019 年夏、北満(中国東北部)は雨続きの予報だったが、天候にも恵まれ、地平線まで続くトウモロコシ・大豆・水田の「緑の大地」はどこまでも続き、心を癒してくれた。龍爪開拓団で生まれた小林軍治(76)生誕の地を再び訪ねる旅をした。1943(昭和 17)年 9 月、東安省林口県の第六次龍爪開拓団で生まれた。1983(昭和 58)年、父親とこの地を訪ねて以来七回目の訪問である。元住んでいた日の出郷(現在は竜爪四隊)の住民は、今回も温かく迎えてくれた。集落の中心地にある雑貨店主劉正峰(60)の店前には住民が集まり、男たちには煙草

日中友好新聞

No. 998

2023/6/1

発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都台東区江馬1-3-5
日中ビル5階
電話 03(5839)2140(TEL)
FAX 03(5839)2141
http://www.jcf-jcfa.jp
E-mail: jcf@jcf.jp

日中友好協会
岡山支部
〒719-8034
岡山県北区下伊福
西町1-58 民主会館1F
TEL: FAX 0861 258-8804

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8031
倉敷市福江町通22461-41
TEL: FAX 0861 411-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhongyouhau.oinaa.net/
メールアドレス
nichuokayama@yahoo.co.jp

を、子どもたちには日本のチョコレートを持って行った。日中友好のお土産だ。集落を案内してくれ、「狭いけど、わが家に入ってください」と案内され、中国農村の生活を垣間見る事も出来た。

旧日の出部落(竜爪四隊)から 2 キロほど西へ行くと、「雪上屯」という集落がある。この地は、龍爪開拓団「上岡山郷」にあたる。周囲は、水田が広がる。当時岡山県出身者 12 世帯・50 人が住んでいた。その地に住んでいた船越美智子(92)に聴くと、「雪上屯」と地名が残っているのは、雪上猛・雪上千歳家族がいたからだ。雪上猛は、大正元年生まれで、先遣隊として入植した。龍爪屯のあるポプラ並木から西面一帯に広がる水田は、雪上猛が中心となって水田班を指導してできたものだ。牛馬を使って耕作し、川から水路を引き、米の品種改良などを実行した米造りの専門家だった。そこで、住民に水田作りを教え、そのことで尊敬されて、戦後も名前が残ったのではないかと地名の由来を推測する。

前回の訪問から始まった夜の懇親会に、わが一行 15 名と地元住民 11 名が参加して盛り上がった。両国の言葉で「北国の春」など合唱し、一層の信頼が強まった。参加した住民が「我們永遠是朋友」と筆談でこう書いてくれた。」

<参考文献>

『大地の叫び』『大地の青春』(筆者自費出版)、旅行記「緑の大地」「慟哭の大地」「悲劇の大地」など

「無告の民の語り部として」小林軍治著、『満州第六次龍爪開拓団の足跡』(船越美智子編著)

山陽新聞記事 2015 年、2017 年、2019 年(高見幸義記者)

『ハルビンの詩がきこえる』加藤淑子・加藤登紀子著(藤原書店)

岸田政権の軍拡政策を拒否する

犬飼 繁

昨年秋の中国共産党大会の初日、習近平主席は台湾問題について、「台湾問題の解決は中国人自身のことであり中国人自身が決めるべきだ。われわれは最大の誠意と最大の努力を尽くし、平和的統一の未来を勝ち取るが、決して武力行使の放棄を約束せず、あらゆる必要な措置をとる選択肢を残す。」と発言したが、NHK や全国紙も「われわれは最大の誠意と最大の努力を尽くし、平和的統一の未来を勝ち取る」をカットし、「決して武力行使の放棄を約束せず」のところだけを切り取って報道している。遠藤誉氏はその著書「ウクライナ戦争における中国の対ロシア戦略」の中で「習近平は基本的に台湾の『武力統一』はしないつもりで、2035 年まで待って台湾経済界を絡め取って『平和統一』にもっていくつもりだ。2030 年頃には、中国の GDP がアメリカを凌駕していて、2035 年頃には少なくとも東アジア地域における米軍の軍事力は中国に勝てなくなっているだろう。だから 2035 年まで待つ。これが習近平の長期戦略だ。」と述べている。中国による台湾進攻が近いというアメリカの報道はフェイクである。

2021 年度の日本と中国の貿易額は過去最高を更新している。お互いに相手国との貿易が欠かせない関係になっている。必要なのは外交による相互理解である。北朝鮮とは正式な国交もない。韓国とは日韓基本条約や請求権協定を結んだが、北朝鮮とは日本の 35 年にわたる植民地支配の清算も済んでいないのである。まずは北朝鮮との国交を回復すること、それがなければ拉致問題の解決もないだろう。今ほど中国や北朝鮮との外交が重要な時期はない。

昨年末、岸田政権は安保関連3文書を閣議決定し、今後5年間で軍事費を GDP 比2%まで倍増させることを決めた。国会で審議するでもなく、国民の信を問うでもなく、何でも閣議決定で決めるやり方は安倍・菅政権以来の悪しきやり方である。

それだけではない。原発は原則 40 年で廃炉としていたにもかかわらず、原子力規制庁の審査に合格した原発は 60 年まで延長可能としていたが、休止中の原発に関してはその休止期間を除いて、60 年を超えて稼働することを可能にする事も決めた。さらに、安倍・菅政権でも原発の新增設については否定していたが、今回岸田政権は原発の新增設にも踏み切った。これも閣議決定で、国会で審議もせず、国民に信を問うでもなく、強行された。東京電力福島第一原発事故の廃炉作業も全く進まない中で、事故がまるでなかったかのような原発推進に大きな憤りを感じる。放射性廃棄物の最終処分も全く見通しが立たない中での強行だ。

日本の外務大臣と防衛大臣がワシントンに行き、アメリカの国務長官・国防長官と会談した。いわゆる2プラス2である。そこで日本が保有を決めた反撃能力に関して、「効果的な運用に向けて、日米の協力を進化させる。」と表明された。もともと、軍事力 GDP 比2%はトランプが日本政府に要求したことが始まりだ。強大化する中国に対抗するため、日本はアメリカという虎を威に借る狐になり下がってしまった。アメリカの言いなりに、集団的自衛権の名のもと、アメリカの始める戦争に日本が巻き込まれていく。岸田は

日本をアメリカに売り渡した売国奴だ。主権国家の長として恥ずかしくないのか。南西諸島に米海兵隊と自衛隊が配備される。住民の不安・沖縄の負担は限りなく大きい。

今後の予定

6月 6日(火) 日中友好協会岡山県支部連合会理事会 14:00~16:00 場所未定

6月 12日(月) 日中友好協会倉敷支部理事会 14:30~16:30 新田事務所

6月 18日(日) 日中友好協会岡山支部理事会 10:00~12:00 岡輝公民館

中国人留学生との交流会 14:00~16:00 岡輝公民館

7月 1日(土) 日中友好協会倉敷支部第19回定期総会 倉敷健康福祉プラザ 13:30~15:30

7月 30日(日) 日中友好協会岡山支部総会 10:00~12:00 岡輝公民館

次回の新聞発送作業は
6月12日(月)午前10時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

河井
真田
竹内